

酒田市社会福祉協議会会報 (全戸配布)

ふくめい 第5号

- ああ人生に波あり●
(1)人生業あり苦もあるさ
底のあとには笑み出る
歩いて歩いたなし、かりと
自分の道をみみして
(2)人生勇気が必要だ
くじりり。誰か先に行く
あとからまたがに進む
泣くのがいけはらざるあり
(3)人生波と笑顔あり
そんなに苦ではないもんだ
肩んこしないで生きるより
何かと求めで生きようよ

びやく
り

照
皇
大
神

大川渡いきいきサロン「あづぱり」

この会報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。



●年頭に考えさせられたこと・社協会長 佐藤 吉雄	2
●草の根ネットワークニュース	3
●地域福祉活動計画の策定について（経過報告）	4~5
●社協支部の活動紹介（八幡支部）	6
●ありがとう善意の輪	7
●「ごあんない」「行事予定」	8
●コラムふれあい	8

●二〇〇七年一月

年頭に考えさせられたこと

—命と個人情報報—

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会 会長 佐藤吉雄



たというのが実感です。去年は「命」が一字漢字に現されたように、命にかかる嫌なことが余りにも多かつた年でした。それが新年に入つてからも次から次へと続くのは一体どうしたことなのだろうか。

そんな折の一月十四日に、全国紙の社説に「災害弱者対策」についてが掲載されており、「命より情報保護は大事なのか」とインパクトのある書き出しで始まる一文に強く惹きつけられました。「過剰な個人情報保護の意識が壁になつて、高齢者や障がい者など災害弱者に対する自治体の救援リスト作りが進まない」(リスト策定をしている自治体は昨年三月で三・四%)というのである。

市社協にとつて、昨年は合併二ヶ月で年が改まつたので何が何やらでしたが、あれから一年漸く一回りします。

おくればせながら
新年あけましておめでとうござい

知らせできない、調査もできない、で苦労してきた私にとつては何か溜飲の下がる思いでした。個人情報保護法にある「本人の利益になるとき」などの条文に不勉強な一面のあつたことを率直に反省し、今後の活動に活かしたいと考えます。「おつかなびつくり」扱ってきた情報（ネットワーク対象者名簿）に自信がつけばより正確なものがより早くなり、情報価値が高まり活動効果が上がりります。

何分にも、社協（学区社協・地区社協）のとりくみはその多くがボランティア的な住民参加が基調であるだけに、あらゆる情報は分かり易くあまり束縛されないという条件が大事なのです。



毎年、年末には総合文化センターモールを会場に歳末たすけあい色紙樂焼展を開いています。

この展示会は、出品はすべてボランティアで協力いただき、作品を市民の皆さんから入札、落札者から買っていただくことで売り上げを歳末たすけあい募金として配分するものです。

本年度協力

いただきました

た作品は色紙、樂焼など六十点を数えました。厚く御礼申し上げます。

住民同士の支え合いと相互互助を基本とした新・草の根事業を実施する中で、安否の確認や火の取扱いに注意を要する世帯にネットを張りめぐらせての見守り活動が福祉協力員・福祉隣組・自治会長・民生委員児童委員の皆さんとの協力のもとに事業展開されているところですが、事例発表や情報交換の中で得たことが今後、学区社協で実施することがワーク支援に反映され、更に活発な事業になるものと思われます。

最終日には学科検定、実技試験が行われ八名の方が合格し、認定証の交付を受け、今後の活躍が期待されます。

少子高齢社会が進み災害時において援護を要する方の体制づくりが求められている今日、日々赤酒田地区では、このような取り組みにも協力しています。

草の根 NETWORK - news

●歳末たすけあい色紙樂焼展

毎年、年末には総合文化センターモールを会場に歳末たすけあい色紙樂焼展を開いています。

この展示会は、出品はすべてボランティアで協力いただき、作品を市民の皆さんから入札、落札者から買っていただくことで売り上げを歳末たすけあい募金として配分するものです。

研修の内容は、泉・若浜・東平田の各学区社協の福祉協力員さんから見守りネットワーク支援の事例を発表いただきました。また、事前に調査を行った見守りネットワーク支援事業アンケートの内容について報告を行い、その後、アンケート結果から出された問題点や課題等について、参加者全員で協議しました。

研修の内容は、泉・若浜・東平田の各学区社協の福祉協力員さんから見守りネットワーク支援の事例を発表いただきました。また、事前に調査を行った見守りネットワーク支援事業アンケートの内容について報告を行い、その後、アンケート結果から出された問題点や課題等について、参加者全員で協議しました。

去る十二月七日から地域福祉センターを会場に四日間の日程でこの講習会が開催されました。講習は、赤十字救急法の講義を基礎として、「心肺蘇生法」「AED・自動対外式除細動器」「止血・包帯・骨折・脱臼・捻挫・搬送・救護」などの実技を日本赤十字社の救急法指導員が行いました。

日本赤十字社山形県支部では、家庭または職場で人がや急病人が発生したとき、あるいは災害などが起きたときに、救急車が来るまでの間にを行う救命手当並びに応急手当の知識と技術を、習得することを目的とした講習会を開催しています。

●福祉協力員全員研修会

●赤十字 救急法・救急員養成講習

地域福祉活動計画の策定について (経過報告)

酒田市社協では平成十七年度から「地域福祉活動計画」の策定を進めております。これまでの策定経過について報告いたします。

計画の策定は全体の策定を担当する「活動計画策定委員会」と課題別に分類した五つの分科会の審議をもつて進める手法です。五つの分科会はそれぞれ四回の協議を十一月までに終了し、素案を基に三月まで「策定委員会」で決定をする予定です。

活動計画の体系は、「住民参加による新しい地域社会、まちづくりの創造」を基本理念として、四つの基本目標と五つの基本施策に基づき、具体的な施策を企画するものです。

第一の柱は、住民参画と協働

のまちづくりです。これまで学区ごとに活動してきた学区社協を中心とした住民互助による福祉事業を開拓してきましたが、学区（地区）社協の推進役となるコ

ミニティワーカー（仮称）を

配置する案が示されました。また、地域に密着したボランティア活動を推進する方策として学区（地区）ごとに「地区ボランティアセンター」を設置する構想を検討してきました。いずれも数年かけて全地域に配置、設置する計画ですが、多くの市民が参画し協働するネットワークを構築したい考えです。

第二の柱は、安心した住みよいまちづくりです。少子高齢社会が進展している今日において、多様な課題に取り組むことが可能となります。また、合併により地域が広がりました。そこで、

求められています。昨年四月にスタートした「地域包括支援センター」を核として相談機関のネットワーク化を図ることで身近な場所でも相談できる体制づくりについて提唱されました。また、認知症高齢者など判断能力が低下した方々の権利を擁護する「福祉サービス利用援助事業」「成年後見制度」の振興策についても検討を進めています。

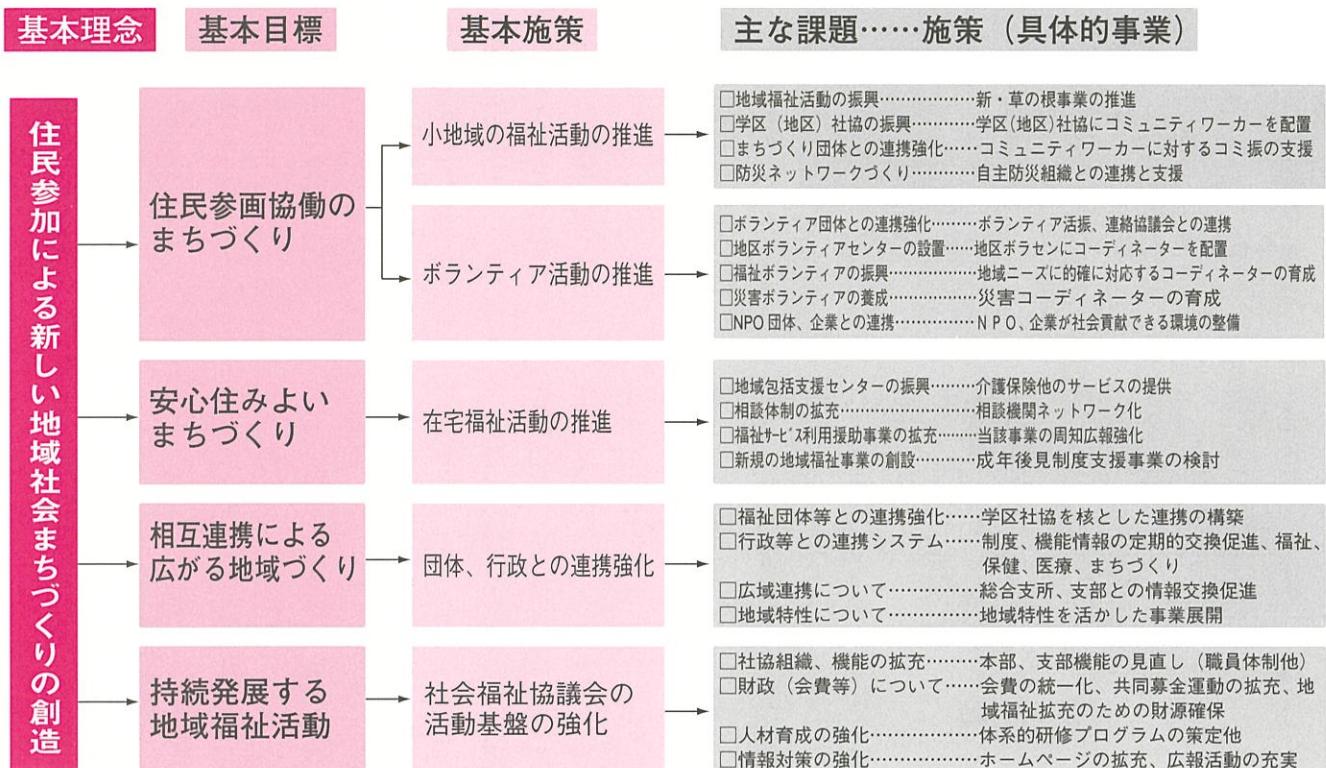
最終的には「地域福祉活動計画」は、酒田市が策定中である「地域福祉計画」とリンクすることで完成します。完成した計画は現在準備中のホームページなどで広報していく予定です。

地域の特性を活かした事業展開についても検討をしております。第四の柱は、地域福祉活動の中核的団体である社会福祉協議会の基盤強化です。多様化する地域福祉課題に取り組めるよう職員の資質向上と効率のいい組織とならなければなりません。また、合併により懸案となっている社協会費の統一化についても一定の指向性をまとめる予定です。

最終的には「地域福祉活動計画」は、酒田市が策定中である「地域福祉計画」とリンクすることで完成します。完成した計画は現在準備中のホームページなどで広報していく予定です。

◎分科会委員 ○代表 ◇副代表
〔地域福祉分科会〕
○五十嵐 淳二
◇林 仁子
前田 寿一
齊藤 貴貳
佐藤 ゆき子
佐藤 剛貳
佐藤 寿一
齊藤 貴貳
（敬称略）

計画の体系図（案）



※計画については検討中ですので変更される場合もあります。

		〔ボランティア分科会〕																
		第一回目					第二回目					第三回目						
		丸岡	佐々木	児玉	小野	伊藤	池田	◇○	小田	齋藤	山岸	富樫	木村	石垣	伊沢	渡部	藤井	
二回目	一回目	誠一	祐一	光二	琴美	則義	美榮	万里子	緑	八月十八日	九月二十日	十月二十日	十一月二十七日	八月十八日	正明	美雪	藤井	
三回目	二回目	丸岡	佐々木	児玉	小野	伊藤	池田	◇○	小田	齋藤	山岸	富樫	木村	石垣	伊沢	渡部	藤井	
四回目	三回目	佐々木	丸岡	佐々木	児玉	小野	伊藤	池田	◇○	小田	齋藤	山岸	富樫	木村	石垣	伊沢	渡部	

		〔総務分科会〕																
		第一回目					第二回目					第三回目						
		星川	堀	伴	碇谷	◇○	小林	日下部	松山	長尾	宍戸	佐藤	今井	小松	永田	藤井		
二回目	一回目	上村	星川	福山	伴	碇谷	◇○	小林	日下部	松山	長尾	宍戸	佐藤	今井	小松	永田	藤井	
三回目	二回目	星川	堀	伴	碇谷	◇○	小林	日下部	松山	長尾	宍戸	佐藤	今井	小松	永田	藤井		
四回目	三回目	堀	伴	碇谷	◇○	小林	日下部	松山	長尾	宍戸	佐藤	今井	小松	永田	藤井			

		〔団体、行政連携分科会〕																
		第一回目					第二回目											
		喜美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	喜美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	
二回目	一回目	喜美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	喜美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	
三回目	二回目	嘉美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	
四回目	三回目	嘉美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	嘉美子	義郎	和浩	諄	

※策定委員会（一・五月二十六日～一月三十日）

社協支部の活動紹介（八幡支部）



▲福祉老人センター「やまゆり荘」

▲橋本まめでろサロン
(頭の体操)

八幡地区は平成十八年十月一日現在で、総人口七千百三十四人、六十五歳以上の高齢人口が二千五百九人、十五歳未満の年少人口が九百十一人となつており、高齢化率は三十・三%、反面年少人口比率が十二・八%というお年寄りが子どもの二・二倍という少子高齢社会となつています。

八幡支部は市条八森公園内にあります老人福祉センター「やまゆり荘」に事務室があります。

八幡支部は市条八森公園内にあります老人福祉センター「やまゆり荘」に事務室があります。

○歳から四歳ぐらいまでのお子さんとお母さんが交流する事業です。会場は八幡中央公民館で毎週火・木曜日の午前中に行われ1回平均三十組が参加しています。

活動内容は、季節の行事、リトミック遊びなど多様で、運営はお母さんたちが行っているものです。

また、「一人暮らし高齢者の交流会（むつみ会）」も長年取り組んでいます。この事業は、民生委員が中心になつて呼びかけ事業展開を行つていているものです。「小旅行」「クリスマスパーティ」「いも煮会」など年間3回の交流の場を持つことで元気に過ごせる機会を提供しています。

合併後は住民参加による地域

旧八幡町では平成十五年度から高齢者などが気軽に集まり、楽しいひとときと仲間づくりができる「サロン」を進めており、今では四十九全地区で実施されています。

また、山形県社協の補助事業を活用し、子育てサロン（ごろにやんくらぶ）を支援しています。「ごろにやんくらぶ」は、

福祉活動の拡充を目指して地区社協の組織化に取り組んでいます。「ふれあい 支え合いの心末広がりに……」が八幡地区のテーマです。

【サロン実施例】



▲むつみ会の芋煮会



ごろにやんくらぶ

- 市条三区：健康体操など
- 法連寺地区：カラオケ、ストレッチ体操など
- 平沢地区：手芸、花植え、清掃
- 荒町地区：ゲーム、唱歌
- 観音寺地区：そば打ち体験
- 北仁田地区：町内施設めぐり
- 福山地区：介護予防体操、ビデオ鑑賞、会食会
- 升田地区：保健師の講話
- 小泉地区：心肺蘇生法の講話

ありがとう 善意の輪

多くのみなさまからご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

■共同募金（街頭・戸別・法人以外） ■歳末たすけあい

氏名・団体名	金額（円）
酒田市身体障害者福祉協会	2,253
幸楽荘	24,823
八幡小学校	1,800
日向小学校	1,100
市条保育園	1,000
和光園職員	4,200
松山総合支所	7,345
松山民生児童委員協議会	12,000
匿名	1,779
寿康園	8,339
社協八幡支部職員一同	4,000
社酒田市シルバー人材センター（八幡支部）	2,000
佐藤明吉（桜林興野）	3,000
北川丈雄（砂越）	12,050
内郷小学校児童会	7,500
松山小学校	8,091
地見小学校	15,000
松山中学校	38,402
土田迪子（新屋敷）	5,000
老人保健施設 徳田山	5,300
松岡株	3,743
酒田市地域福祉センター	4,190
デイサービスいづみ	5,218
N P O 法人あらた	10,000
代表理事 斎藤 緑	
やまゆり荘	71
ひらたタウンセンター	2,408

氏名・団体名	金額（円）
八幡ロータリークラブ	5,000
遠田武雄（大平沢）	1,000
ななしの会	9,600
春味の会	2,200
酒田市婦人会連絡協議会	20,000
酒田支部婦人会	
東平田婦人会	20,000
斎藤平助（四ツ興野）	3,423
中村宗寛（鶴岡市神明町）	50,000
酒田かがやき会	35,000
軽トレーニング教室	20,370
匿名	150,000
浜田学区文化祭実行委員会	7,000
浜田小学校児童会	10,000
酒田飽海建設総合組合	
酒田東支部東平田分	11,800
石油防災（株）酒田防災事務所	14,357
佐藤志げ子	4,553
酒田市ボランティア連絡協議会	150,000
酒田市本楯赤十字奉仕団	10,000
酒田市本楯赤十字奉仕団	3,987
生活協同組合 共立社	75,000
ツルカンシステム（株）	20,000
（株）酒田クイーンダンススクール	20,000
今野こずえ・今野恵美子	5,000
匿名	448
（有）高橋洋装	3,615
港南小学校	31,702
飽海地区高等学校	37,823
文化連盟 茶道専門部	
立町豊寿クラブ	10,824
（株）莊内日報社	200,000
酒田東高等学校生徒会	32,288
（株）山形ビルサービス従業員一同	30,023
久村の酒場のみなさま	14,982
酒田市シルバー人材センター	2,570
酒田看護専門学校	20,000
ソロップチミスト酒田	20,000
宮野浦小学校	11,000
酒田市立第一中学校	16,100
匿名	2,262
光風学園家族会	5,190
東北東ソーカ化（株）労働組合	30,000
富士見小学校児童会	20,000



平成 19 年 1 月 26 日現在
(敬称略)

■酒田市社協へのご寄付

氏名・団体名	物品・金額（円）
カトリック酒田教会	10,000
遠田健夫（市条）	50,000
（社）酒田法人会 女性部会	タオル 120 枚

■他の団体へのご寄付

庄内ヤクルト販売株式会社から
共同作業所「みつば」へ 50,000 円
匿名 - ワークショップ ヤホーへ 50,000 円
(株)山形ビルサービス庄内支社長から
母子福祉ねむの木会へ(母子家庭の子供達へ)
クリスマスケーキ 10 個



お知らせ



この度、相生町にあります「酒田市老人福祉センター」と「酒田市母子福祉センター」は、施設機能の移転、事業の見直しにより、平成十九年三月三十一日をもって施設廃止することになりましたのでお知らせします。

これまで、皆さんより「市民の憩いの場」「地域福祉の拠点」として永らくご利用いただきましたことに對し、心より御礼申し上げます。

なお、二月一日(木)から三月三十日(金)までは、施設を無料開放いたしておりますので、ご利用いただきたいと存じます。

○酒田市社会福祉協議会
二三一五七六五（総務課）

ごあんない

□山形県養護学校「平成十八年

度旅立ちの文化祭」について

○内容 高等部を中心とした発表・生徒たちが作った

製品を販売します。

○地域あんしん事業（松山支部）
対象：日赤救急指導員

○日本赤十字山形県支部（主催）
「救急指導員研修会」
月日：三月十九日

○日時 三月二日(金)

午前十時から十一時三十分まで

○鶴岡市大塚町五の四十四番地
(担当 堀恵美まで)

○問合せ 日時：三月十四日、二十八日
午後一時三十分から同三時まで

○ふれあいカローリング大会
(平田支部)

○心配ごと相談 場所：平田海洋センター
日時：三月十五日

○心配ごと相談 日時：三月六日・二十日

○心配ごと相談 場所：地域福祉センター
日時：三月六日・二十日

○心配ごと相談 場所：地域福祉センター
日時：三月六日・二十日

○心配ごと相談 場所：地域福祉センター
相談員 人権擁護委員
母子の相談員

行事予定

○日本赤十字山形県支部（主催）
「救急指導員研修会」
月日：三月十九日

○日時 三月二日(金)

午前十時から十一時三十分まで

○鶴岡市大塚町五の四十四番地
(担当 堀恵美まで)

○問合せ 日時：三月十四日、二十八日
午後一時三十分から同三時まで

○ふれあいカローリング大会
(平田支部)

○心配ごと相談 場所：平田海洋センター
日時：三月十五日

○心配ごと相談 日時：三月六日・二十日

○心配ごと相談 場所：地域福祉センター
日時：三月六日・二十日

○心配ごと相談 場所：地域福祉センター
日時：三月六日・二十日

コラムふれあい

編集委員長 吉村 芳美

“西鶴が酒田にやってくる”

世に舟程重宝な物はなし
爰に坂田の町に燈屋といふ大
問屋住みけるが……

浪花の語り口の舞台に魅きつけ
られたあの日は、今も忘れぬ。

芭蕉と西鶴の俳諧を対比させ、
一日一夜二万五百句独吟という
超人的記録をうちたて世人を驚かせる。舞台狭しと巻紙一ぱ
いの句を広げ「西鶴を今にもち
出しうる才覚」と自己宣伝も忘
れず舞台の九十分、西鶴の生き
様を「ああ忙しいこつちや十七
文字サレド十七文字」とつぶや
く。この日荒木社中の「酒田節」
が花を添え、江戸文化、時代も
のばやりの今日、酒田の賑わい
は、とんと昔語りとなる。